

**製品名: CNOT2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09128**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CNOT2
別名	CNOT2; CDC36; NOT2; HSPC131; MSTP046; CCR4-NOT transcription complex subunit 2; CCR4-associated factor 2
遺伝子 ID	4848.0
SwissProt ID	Q9NZN8
免疫原	抗血清はヒト CNOT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 67-116

**背景**

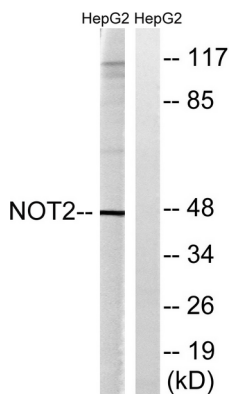
CCR4-NOT 転写複合体サブユニット 2 (CNOT2) ホモサピエンス この遺伝子は、多成分 CCR4-NOT 複合体のサブユニットをコード

しています。CCR4-NOT 複合体は mRNA の合成と分解を制御し、mRNA のスプライシング、輸送、局在にも関与していると考えられています。コードされているタンパク質はヒストン脱アセチル化酵素と相互作用し、ポリメラーゼ II 転写の抑制因子として機能します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2010年12月],機能: CCR4-NOT 複合体は、一般的な転写調節複合体として機能する。 ,PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: CNOT2/3/5 ファミリーに属する。 ,サブユニット: CCR4-NOT コア複合体のサブユニットで、CHAF1A、CHAF1B、CNOT1、CNOT2、CNOT3、CNOT4、CNOT6、および CNOT8 を含む。 ,組織特異性: 普遍的に存在する。脳、心臓、胸腺、脾臓、腎臓、肝臓、小腸、胎盤、肺、および末梢血白血球で高発現する。 ,

## 研究分野

RNA 分解;

## 画像データ



CNOT2 抗体を用いた、24 時間飢餓処理した HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。